

「農薬安全適正使用ガイドブック」2012年版の訂正について

2012年版「農薬安全適正使用ガイドブック」において以下の訂正がございました。
関係者ならびに利用者の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

①p249 スミパイン乳剤の適用

樹木類(倒木・伐倒木) <樹皮下・材内生息期/6>の害虫名

(誤) スギザイキタマバエ → (正) スギザイノタマバエ

②p340、342 コサイドDF 水酸化第2銅61.4%

有効成分量の部分に (銅40%) を追記

③H23.7.31現在で失効している農薬

- ・p418 TPN水和剤 16825 武田ダコニール1000 (H23.5.20失効)
- ・p648 フェンメディファム乳剤 9919 ベタナール乳剤 (H23.5.8失効)
- ・p690 DCMU水和剤 12339 カーメックスD (H23.5.4失効)

④p699 MDBA液剤 クズコロン液剤の適用

使用方法 (誤) ~株頭に滴下 → (正) ~株頭に滴下

⑤p815

- ・岡山県の欄以下に訂正

岡山県農林水産部農産課 〒700-8570 岡山市北区内山下2の4の6

電話 086-226-7422

病虫害防除所 〒709-0801 赤磐市神田沖 1174-1

電話 086-955-0543

農林水産総合センター 〒709-0801 赤磐市神田沖 1174-1

電話 086-955-0271

高冷地研究室 〒717-0603 真庭市蒜山東茅部 1188

電話 0867-66-2043

⑥p469 粉衣用ペアーカスミンDの適用

毒性・消防 (誤) 普通物 → (正) 劇物

⑦p427 ルーチントレス箱粒剤の適用作物・適用病害虫・雑草、使用時期、
 使用量、使用回数 (誤) ばらく発病初期/一>黒星病・うどんこ病 原液散布
 → (正) 稲(箱育苗)

作物名	適用場所	適用病害虫 雑草名	希釈倍数 使用量	散布液量	使用時期	使用回数	使用方法	適用土壌	適用地帯 名
稲(箱育苗)		ウンカ類	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5%)1 箱当り50g		は種前		育苗箱の 床土又は 覆土に均 一に混和 する		
		イネヒメモグリハエ							
		イネミスソウムシ							
		イネトコロイムシ							
		コブノメイガ							
		ニカメイチュウ							
		フタオビコヤガ							
		いもち病							
		ウンカ類			本剤 1回 イタダアフリト 3 回以内(移植時 までの処理は1 回以内、本田で の散布は2回以 内) コロントラニフ ロール 1回 イソチアニル 3回以 内(移植時まで の処理は1回以 内、本田では2回 以内)	は種時(覆 土前)~移 植当日		育苗箱の 上から均 一に散布す る。	
		イネヒメモグリハエ							
		イネミスソウムシ							
		イネトコロイムシ							
		コブノメイガ							
		ニカメイチュウ							
		フタオビコヤガ							
		いもち病							
		ツマグロコバイ			は種前		育苗箱の 床土に均 一に混和 する。		
		イネツムシ			は種時(覆 土前)~移 植当日		育苗箱の 上から均 一に散布す る。		
		イネアザミヤマ			移植当日				
		もみ枯細菌病							
白葉枯病	は種時(覆 土前)~移 植当日								

使用上の注意事項

- 本剤を床土または覆土に混和処理する場合、処理後速やかに使用して下さい。また本剤を処理した床土または覆土を放置しないで下さい。
- 梅雨明け後の高温時の晩期栽培では、は種前およびは種時の処理により薬害が生ずる恐れがありますので、これらの時期での使用を避けて下さい。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生ずる恐れがありますので注意して下さい。
- 本田の聖地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意事項

- 誤食などのないように注意して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼしますので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
- 散布器具および容器の洗浄水は河川等に流さないで下さい。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。